

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	高松市屋島競技場(屋島レクザムフィールド)		
指定管理者	四電エグループ	施設所管課等	スポーツ振興課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市屋島中町374-1	業務の概要	施設の維持管理・運営業務 1)受付業務 7)プログラムの運営 2)競技備品の貸出 8)使用許可 3)会議室の貸出 9)その他 4)安全管理 ・自主事業 5)衛生管理 ・地域貢献 6)応急処置 ・利用促進
施設の概要	<施設>SRC造4F建 延16,027㎡ <職員の状況>四電工社員1名、契約社員7名、派遣社員2名 太平ビルサービス2名(うち1名非常勤) 長谷川体育施設1名(非常勤) <開館時間>9:00～21:00 年始年末(6日)休館		

	項目名	令和5年度	令和4年度	項目名	令和5年度	令和4年度
利用状況等	利用者数	136,249 人	132,435 人	施設稼働率(主競技場)	16 %	19 %
	(うち専用利用者数)	68,279	69,623	施設稼働率(会議室)	37 %	37 %
	(うち個人利用者数)	42,720	44,264	アンケート回収数	382 枚	598 枚
収支状況等	指定管理料	57,943 千円	58,820 千円	支出実績	72,593 千円	72,695 千円
	収入実績	73,380 千円	73,480 千円	精算残額(市へ返納)	0 千円	651 千円
	(うち貸館収入)	14,961 千円	14,355 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	グループ構成会社の専門性及び実績を活かした業務体制を構築し、維持管理業務・保守業務に有資格職員を配置し、適切に管理した。また、非常時に備えた防災訓練、法令遵守教育等を適宜実施し、職員の危機管理能力向上に取り組んだ。個人情報に関する文書やデータの取扱い状況、業務情報、PC・スマホの管理方法等について、定期的にチェックするなど適切な情報管理を行った。環境への配慮として、省エネの徹底やゴミ分別、ペーパーレス化を積極的に行い、環境負荷低減に努めた。	A
	②-1個人情報の保護・情報公開		
	②-2環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	より適切でニーズに合った管理運営ができるよう施設運営規程等を改正し、施行要領等は職員に周知徹底することで、利用者への公平・平等な対応を行った。有料施設利用者に限らず、施設は常に開放し、ウォーキングや集会に利用される方へのサービスも同等に行っている。	A
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	全中大会のサッカー会場となったことから施設の認知度が上がったと思われることから、この機会にフィールドの多目的利用を促進し、新たな利用者を取り込めるよう進めている。また、県内外の学校、団体等に室内競技場を有する利点や利便性の良さを機会あるごとにPRすることで合宿利用者を増加させている。自主事業は継続実施しており、子どもから高齢者に至るまで幅広く参加を募り、スポーツやカルチャー講座の機会を提供することで、健康づくりや人的交流などに役立てている。	B
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	職員体制は常に見直し、過不足の無い効率的なローテーションを行い、職員の負担を減らすとともに時間外労働の削減に努めた。また、定期健康診断、ストレスチェック等の結果は産業医に連携し、支援体制を整えるなど労務管理、健康管理を適切に行っている。職場ではOJTの他、社内外の研修に参加させ、スキルアップと意識高揚を図った。施設賠償責任保険、サイバーリスク保険は毎年内容を見直し加入し、利用者をはじめ被害者に対する適切な補償ができるよう備えている。収支については、予算書に基づく執行管理を行い、収支バランスも取れている。	A
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む)		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	自主事業参加者を増やすことで、専用利用者及び個人利用者の減少分を補い、利用料金収入を計画以上に確保するとともに経費節減に努め、健全な運営管理を行った。また、地域住民団体等の催しや健康づくりの場所として利用してもらうなど、様々な活用方法により施設の価値を高めている。財政援助団体等監査において、適切な経理処理を行うよう指摘されたため、速やかに是正処置を実施した。	A
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
早朝から外周全面扉の開放を継続的に実施している点や、イベント等に合わせ利用時間の前倒し・延長等に積極的に対応している点など、地元住民や利用者のニーズに柔軟に対応している点は、高く評価できる。施設に必要な有資格の取得を始め、接遇訓練やコンプライアンス研修など幅広い研修を実施しており、職員の人材育成にも積極的に取り組んでいる。 利用者数については、年度目標を超えることは出来なかったものの、施設の知名度を活かしたフィールドの多目的利用を促進する取組、学校や団体等に室内競技場の良さをPRすることで合宿利用者を増やす取組を行っていることは評価できる。取組を継続して利用者数を増やせるよう期待している。 管理運営体制については、利用者への公平・平等な対応を行うべく、施設運営規程等を改正しより適切な管理運営に努めている。職員体制については、効率的なローテーションによる負担軽減や産業医と連携した労務管理、健康管理を行っている。また、自主事業の開催により利用者数の減少分の利用料金収入を補い、経費削減に取り組んだ点については高く評価できる。	B